

～日中国交正常化40周年記念～

約11万人の中国人大学生に日本語を教える 『日本語講演マラソン』スタート

9月20日(現地時間)、「日中国交正常化40周年記念 日本語講演マラソン」の第1回目が、大連理工大学を皮切りにスタート致します。「日本語講演マラソン」は2013年3月までに、講師である笈川幸司氏(以下、笈川氏)が中国の約540大学を回り、約11万人に日本語を教える企画です。

笈川氏は清華大学(2002年2月～2005年8月、2007年9月～2011年6月)、北京大学(2005年9月～2007年8月)で日本語学科講師を歴任。当初は、講師を務めた2大学と北京外語大学、北京第二外国語大学の学生のみ日本語を教えていましたが、日本語スピーチコンテスト優勝者が上記4大学以外から輩出されなくなったことを受け、2007年頃から理工大学、工業大学、科技大学、林業大学など、前述した4大学以外の学生にも日本語を教え始めると、今まで優勝実績の無かった大学の生徒達を優勝に導きました。

これにより、笈川氏の日本語指導法は高く評価され、日本語を学ぶ学生達の間でカリスマ的存在に。中国で日本語教師を始めて以来、「一度は中国全土を回って日本語を教えたい。一人でも多くの日本語を学んでいる学生達に、就職、留学、観光で日本に来るきっかけを作りたい。」と考えていた笈川氏に、日本大使館山田重夫公使より「鑑真和上式典(楊州)」に出席した際、楊州大学日本語学部の学生達から、「自分たちが頑張っているのは、笈川先生が4年間、励まし続けてくれたから。いつか笈川先生がこんな小さな町に来て、スピーチの特訓をして欲しい」との声が寄せられたことを聞いて、「日本語講演マラソン」開催を思い立ちました。

日本語講演マラソンでは、日本語のイントネーションをポイントとした独自に考案した「笈川楽譜」を中心に、効率の良い日本語学習法をアドバイス。希望者には、補足としてメールマガジン「笈川通信」を無料で配信します。9月2日に天津市で開催された、「日本語講演マラソン出陣式」では、天津市長、日本大使館山田重夫公使等が参列。「日本語講演マラソン」のテーマソングも発表されました。「日本語講演マラソン」は、観光庁から東日本大震災からの復興を伝える役割も託されており、まさに国交正常化40周年に相応しい企画です。長丁場ではありますが、日本からの熱い応援も願申し上げます。



※日本語講演マラソン
公式ホームページ



※9月2日天津市で開催された出陣式の様子
(左:笈川幸司氏、右:日本大使館山田重夫公使)



※テーマソング
「ピース to ピース」を皆で歌っているところ

【日本語講演マラソン公式サイト】

<http://www.oikawa.pro/jp/>

【協賛・後援(※五十音順)】

株式会社インターリンク/カシオ計算機株式会社/観光庁/国際交流研究所/人民中国/清華大学日本語学科/東京大学北京事務所/日中協会/日中文化交流センター/日本国際文化芸術教会/日本大使館/株式会社リクルート

【メールマガジン「笈川通信」】

日本語学習法の補足として週に1度無料配信。また、メルマガ読者である中国人大学生に向けて毎回アンケートも実施。アンケート内容は日本から募集します。

【参考】

笈川幸司 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AC%88%E5%B7%9D%E5%B9%B8%E5%8F%B8>

●本リリースに関するお問合せ先● ※リリースに関するお問い合わせ以外はご対応致しかねます。

TEL:03-5985-1695 E-mail: info@interlink.pr 担当:菅野(スガノ)、高橋